

広島文教大学
学長 森下 要治

「改革」3年目を 迎えて



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今年度も高い志を持った皆さんを文教の仲間にお迎えできたことは、何物にも代えがたい喜びです。男女共学化、大学名称の変更、二学部体制への移行——このような大きな改革に踏み切って、3年目となります。この間、全ての関係者のお力によって多忙な中にも活気あるキャンパスを形成できている点において、一連の改革は、ひとまず成功と言ってよいでしょう。

しかし、この場合の「成功」という評価には、「ひとまず」という留保が必要です。なぜならば文教は、学生一人ひとりの夢の実現に貢献するという責任を、改革後の入学生に対しては果たさせていないからです。改革初年度の『広島文教通信』第84号で、私は次のように述べました。改革の真価は、変えた教育が実らせる成果によって示されます。つまり、相応の困難も伴うであろう今後の取り組みこそ、改革の本番と云うべきなのです。

フィリピン・セブに 「ラプラプセブ国際大学」が開学

本学園が中心となってフィリピンの現地法人等と共同し、セブ州にあるマクタン島に「ラプラプセブ国際大学(Lapulapu-Cebu International College) (以下「LCIC」)」が開学します。2019年12月に起工式を行い、2021年8月の開学を目指しています。現在、語学学修専用棟校舎をはじめ、本部棟、学部棟、寮を建設中です。

LCICでは、フィリピン入学生に向けて、外国語学部、ツーリズムマネジメント学部、ソーシャルサービス学部、理学療法士学部を設けます。特にソーシャルサービス学部では、1年次より4年間日本語を学修し、日本の文化やマナーも学びます。卒業後に日本での就労を希望する学生には、広島県を中心として介護施設での就労を斡旋する予定です。

文教生をはじめとする留学生を約500人受け入れできる環境も整えます。東南アジア全域から留学生を募集し、英語を学修するとともに多様な文化に触れる機会を提供します。生活の場としてはシェアハウス型(10人分の個室で1ユニット)の寮を設置します。1ユニットにはさまざまな国籍の学生が在室し、国境を越えた学生同士が共同生活をする事で親密な関係の構築が可能です。文教生の留学費用は授業料・寮費・食費込みで4週間68,000円を予定しています。短期留学生の受け入れ開始は2022年2月頃を予定しています。今後のお知らせを楽しみにお待ちください。

※開学時期・開設学部はフィリピン政府の許認可の関係で変更になる場合があります。



建設中の語学学修専用棟校舎

海外姉妹校

開設について



学校法人 武田学園
理事長 武田義輝

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。春の暖かな風が吹く中、皆さんも新しい生活に胸を躍らせていることと思います。本学園は武田ミキ先生によって昭和23年に創設されました。以来73年間、幾多の困難を乗り越え、さまざまな変革を遂げて今日の姿があります。そして、今年8月、フィリピンのセブに姉妹校「ラプラプセブ国際大学(LCIC)」が開設される予定です。学園にとって新たな、そして、大きな一ページが記される記念すべき年となります。LCICは本部棟、語学学修専用棟、学部棟、寮、正門の5つの建物からなり、敷地面積は約6万5千㎡、校舎面積は約3万㎡になります。マクタン・セブ国際空港のすぐそばで、外国人観光客が多数訪れる綺麗なビーチもすぐ近くにある絶好のロケーションです。LCICでは本学の学生を来年春から短期留学生として受け入れ予定で、一般的な留学と比べて、かなり割安な費用負担で済むことも大きな特徴です。

これからの世界は外国との垣根がどんどん低くなり、交流もさらに盛んになっていくことと思います。本学の学生には一人でも多く海外留学を体験してもらい、英語学修だけでなく異文化を身をもつて体験してもらいたいと願っています。きっと、皆さんの人生の大きな財産になることと思います。詳細は追ってホームページ等でお知らせしますので、楽しみにしてください。

HIROSHIMA BUNKYO NEWS 広島文教通信

vol.86

新入生に向けて

発行所



志す、こころ輝く。
広島文教大学

〒731-0295
広島市安佐北区可部東1-2-1
Tel: 082-814-3191 (代表)
Fax: 082-815-6801

CONTENTS

- 1 理事長挨拶 武田 義輝
- 1 学長挨拶 森下 要治
- 1 ラプラプセブ国際大学が開学
- 2-3 BECC 学内にいながら留学体験
- 2-3 学内で活躍する学生サポーターたち
- 4 学生表彰者報告
- 4 学園財務報告
- 4 大学ランキング紹介
- 4 学園へご寄附のお願い
- 4 文教の“今”を発信中

学 | 生 | 表 | 彰 | 者 | 報 | 告 |

令和2年度 卒業生6名が表彰されました。

学術活動において特に顕著な業績を挙げたと認められる者

● 初等教育学科	末 永 佳 蓮	● 人間福祉学科	初 鹿 野 有 紗
● 心理学科	越 智 綾 花	● 人間栄養学科	田 中 静 里 香
● グローバルコミュニケーション学科	矢 田 部 徳 華		

「トビタテ! 留学JAPAN」に選ばれ、JICAインターンシップに参加するなどして、積極的に海外での知見を広め、その経験を「国際貢献サークル」などを通して伝えただけでなく、大学の外へも広く広報し、周りの学生に大きな影響を与え、表彰に値する実績等があったと認められる者

● グローバルコミュニケーション学科 山 田 紗 季

大学ランキング

『大学探しランキングブック2021』(大学通信)において、
広島県内第1位にランクインしました。

《 2020年実就職率 》

広島県内 第1位

2020年3月卒業生の就職率は97.9%、実就職率は95.6%。

社会情勢をふまえた戦略に基づいた就職活動支援と
小規模大学だからこそできる徹底指導で、
学生の進路実現をサポートしています。

※就職率(%)は、就職者数÷就職希望者×100で算出

※実就職率(%)は、就職者数÷[卒業(修了)者数-大学院進学者数]×100で算出

全国の高等学校の進路指導教諭が評価する大学ランキング

《 小規模だが評価できる大学 》

広島県内 第1位

(中国・四国地区私立大学 第2位)

ご寄附のお願い

各学校の教育・研究活動の充実、学園生への修学支援および施設設備の改善充実等を図る目的で、「武田学園教育振興寄附金」を募集いたします。経済情勢の厳しい折ではございますが、本募集活動の趣旨にご理解とご賛同をいただきまして、寄附金募集に何卒温かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

〈個人の方〉一口 1,000円(3口以上何口でもご寄附いただけます。)
〈法人の方〉一口 10,000円(何口でもご寄附いただけます。)

詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.h-bunkyo.ac.jp/university/region/donation/>



本学は、公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を令和元年度に受審し、「適合」と認定されました。

令和元年度 財務報告(学園全体)

貸借対照表 (令和2年3月31日)

(単位:円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	10,658,634,063	9,647,153,649	1,011,480,414
有形固定資産	9,275,909,192	9,354,890,694	△ 78,981,502
土地	2,866,697,314	2,886,312,172	△ 19,614,858
建物	4,502,257,272	4,705,570,072	△ 203,312,800
その他の有形固定資産	1,906,954,606	1,763,008,450	143,946,156
その他の固定資産	1,382,724,871	292,262,955	1,090,461,916
流動資産	1,462,987,059	2,668,706,835	△ 1,205,719,776
現預金	1,305,723,356	2,208,693,977	△ 902,970,621
その他の流動資産	157,263,703	460,012,858	△ 302,749,155
資産の部合計	12,121,621,122	12,315,860,484	△ 194,239,362

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	1,499,875,025	1,512,383,183	△ 12,508,158
長期借入金	1,128,930,000	1,139,785,000	△ 10,855,000
その他の固定負債	370,945,025	372,598,183	△ 1,653,158
流動負債	613,744,775	556,387,615	57,357,160
短期借入金	10,020,000	10,020,000	0
その他の流動負債	603,724,775	546,367,615	57,357,160
負債の部合計	2,113,619,800	2,068,770,798	44,849,002

純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	16,704,470,762	16,467,376,475	237,094,287
第1号基本金	16,477,870,762	16,240,876,475	236,994,287
第3号基本金	56,600,000	56,500,000	100,000
第4号基本金	170,000,000	170,000,000	0
繰越収支差額	△ 6,696,469,440	△ 6,220,286,789	△ 476,182,651
翌年度繰越収支差額	△ 6,696,469,440	△ 6,220,286,789	△ 476,182,651
純資産の部合計	10,008,001,322	10,247,089,686	△ 239,088,364
負債の部及び純資産の部合計	12,121,621,122	12,315,860,484	△ 194,239,362

(注記)

1.減価償却額の累計額の合計額

7,980,422,075円

2.徴収不能引当金の合計額

1,615,000円

3.翌会計年度以降の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額

791,036,310円

\\ 文教の“今”を発信中 //



広島文教大学
ホームページ

広島文教大学

検 索

広島文教大学が
運営するWEBマガジン
ココロザス
「cocorozasu」

国道183号線沿い
「安佐市民病院前」交差点に
デジタルサイネージを設置しました!

BECC

BUNKYO ENGLISH COMMUNICATION CENTER

学内にいながら留学体験

BECC(Bunkyo English Communication Center)は全学科の学生を対象に教養教育科目として英語の授業を、またグローバルコミュニケーション学科や教育学科の学生を対象に専門的なスキル、高度な英語運用能力の修得に必要な授業を提供する、中・四国地区最大級の英語学修専用施設です。2FのSALC(Self-Access Learning Center)での公用語は英語です。BECCの教員と、または友達同士でも英語力や異文化コミュニケーション力を養うことができる、学内留学の環境を整えています。

BECCディレクター

アーサー・ラットソングリフィス
Arthur Rutson-Griffiths



Welcome to Bunkyo! 皆さんにお会いできて嬉しいです。BECCでは世界各国から集まったフレンドリーな教員が一人丸となって、皆さん一人ひとりのレベルに合ったコミュニケーション能力向上を重視した実践的な授業を行っています。

自分の今の英語力をもって最善を尽くしてやってみようと思っていれば、皆さんの英語力は上達しますし楽しめると思います。また、授業だけではなく英語を使って、他の学生やBECC教員と出会うチャンスでもあるイベントやキャンペーンを、年間を通して開催しています。

そしてSALCでは幅広い書籍やコミック、映画、学修用ガイドなどを揃えており、思い思いの英語学修に取り組むことができます。さらには、皆さんの目標達成までの学修プラン作りや学修スキル向上をサポートする専門のスタッフもいます。SALCのイエローソファでは毎日BECC教員が皆さんを待っていて、英会話の練習をすることができます。今は海外など旅行をするのが困難な状況ですが、キャンパスに来るたびにBECCで海外留学を経験する機会があるのです。We're looking forward to seeing you!

ラーニングアドバイザー

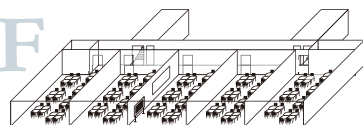
ラットソングリフィス 佑加理



英語は好きですか? 苦手ですか? BECCでの英語学修は今までと少し異なります。目標やレベル、興味や関心が違えば、人によって学び方が違うのも当然です。SALCには一人ひとりの目標やレベル、悩みに沿って最適な学修方法を提案する専属のラーニングアドバイザーがいます。まずは気軽にSALCに足を運んでください。一歩踏み出す勇気が、あなたにぴったりの新しい学びの形、新しい自分との出会いに繋がるはずです。

FLOOR GUIDE

3F

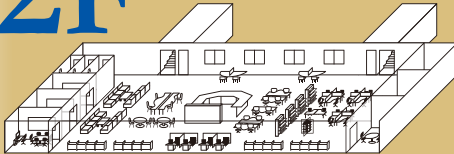


ブレンデッドラーニングスペース

BLENDED LEARNING SPACES

最新のテクノロジーを備えたスタイリッシュな教室で、BECC教員によるアイデア満載の楽しい授業が展開されるフロア

2F

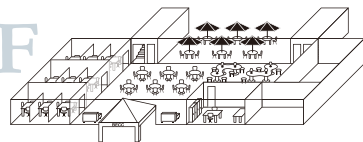


セルフアクセスラーニングセンター

SELF-ACCESS LEARNING CENTER

誰もがEnglish Onlyで過ごす、自律学修のためのフロア

1F



ベックカフェ

BECC CAFE

ランチや休憩、勉強…と、使い方は自由自在。

BECC教員とコミュニケーションが楽しめるフロア

SALC

SELF-ACCESS LEARNING CENTER

って、どんなところ?

TV Booth

テレビブース



好きな映画を鑑賞しながら単語や表現を学ぶことができます。友達と一緒にお気に入りの映画を観て、英語で感想を言い合うのも楽しいですね。

Multi Purpose Room

マルチパーパスルーム



プライベートな空間で、グループワークをしたり少人数で課題に取り組んだりと多目的に利用することができます。仲間と、または一人でも、思い思いの学修にじっくりと取り組むことができます。

Yellow Sofas

イエローソファ



明るく開放的なラウンジスペースです。ここでは、BECC教員や友達同士でのびのびと英語でのコミュニケーションを楽しむことができます。自然な英語に触れ、会話の中で役立つ表現も学ぶことができます。

英語修得に必要な教材やツールが揃う自律学修のためのフロア。

テキスト、雑誌、コミック、CD、DVD、ゲームなどがたくさん用意されています。

明るく開放的なラウンジスペースでは、BECC教員や友達同士で

英語でのコミュニケーションを楽しむことができます。

SALCラウンジでのフリートークや蔵書検索、ラーニングアドバイザーへの相談などはオンラインでも可能です。

SALCでは、
一人ひとりのニーズに合った英語学修法を
提供しています!



英語を話せるようになりたい!

留学したい!

英語の学修方法を相談したい!

TOEICのスコアを上げたい!

…etc.

Learning Resources

学修教材

利用者のさまざまなニーズやレベルに沿った、バラエティ豊かな書籍が学修意欲を高めます。まずは興味のある本から手に取って、楽しみながら英語に触れてみましょう。

Music Section

音楽セクション

歌詞カードを使って単語を覚えたり一緒に歌って発音の練習をしたりと、CDの使い方はいろいろ。CDプレイヤーも借りられるので、自分のペースで学修することができます。

学内で活躍する学生サポーターたち

授業の空きコマや休日を上手に使いながら、学生サポーターとして有償で活動しています。

各サポーターの新規募集については、各施設から発信するユニバーサルパスポートでの案内や、学内掲示等でご確認ください。



BECC内SALCで活動

グローバルコミュニケーション学科4年 埜 夏希さん

活動概要

SALCにある教材の管理(貸出の手続きや教材の修理など)や、イベントの企画立案などを行っています。

活動に応募したきっかけ

高校生の時にオープンキャンパスに参加した際、SALCerの先輩方がとってもよく、憧れたからです。

活動の中で一番やりがいを感じるとき

企画したイベントが成功した時です。企画立案から準備・実施まで、予定を調整しながらみんなで協力しあうことはとても大変でした。でも、イベント当日に多くの学生が来場し、楽しんでいる姿や笑顔を見られたので、これまでの努力は無駄ではなかったと思いました。

活動を通して得たもの・新入生へのメッセージ

人前で話すことが苦手だった高校生の頃と違い、緊張はするけれど、自ら率先して前に立って話そうという気持ちが強くなりました。何事にも積極的にチャレンジしようというポジティブに考える思考が身につく、ベトナムインターンシップにも参加しました。また、空きコマを有効活用してSALCer勤務を入れたり、授業での課題を進めたり、タイムマネジメントができるようになったとも感じています。

大学生活は自分自身の過ごし方で変わってくると思いますが、新入生の皆さんも、色々なことにぜひチャレンジしてみてください! SALCもたくさん利用してくださいね。



附属図書館で活動

教育学科 初等教育専攻3年 南方 都邑さん

活動概要

附属図書館カウンターで本の貸出・返却、POP作りを中心に、読書のきっかけづくりや利用者のサポートなどを行っています。

活動に応募したきっかけ

もともと本が大好きで、司書の仕事にも興味がありまし

た。また、将来の夢の一つが図書館をすることで、実際に図書館ってどういうことをしているのか気になっていた、という理由もあります。

活動の中で一番やりがいを感じるとき

POP作りです。「どうやってみんな見てくれるかな」「この本を見つけるのってなかなか」と考えて、真っ白なカードにPOPを作り出していくのはとても楽しいです。その一生懸命作ったPOPを図書館の利用者が見て、自分が紹介した本を手に取り、借りてくれるのを見ると、作ってよかったと嬉しく思います。

活動を通して得たもの・新入生へのメッセージ

POPや帯など、本の紹介をするための方法がたくさんあることを知りました。文字の書き方、色の使い方、要約の仕方など、さまざまな工夫があります。ぜひ、皆さんにも見ていただいて、この工夫を知ってほしいです。新入生の皆さんは、期待で心を膨らませて入学されたと思います。困ったことや大変なことがあったらどんどん先輩や先生に頼って、楽しい大学生活を送ってください。図書館も活用してください、お待ちしております。



オープンキャンパス等のイベントで活動

教育学科 初等教育専攻3年 川口 桜実さん

活動概要

オープンキャンパスなどの高校生向けイベントの準備や片付け、司会・進行、構内や学生寮の案内、高校生・保護者からの質問対応などを行う活動です。

活動に応募したきっかけ

高校生の時にオープンキャンパスに来て、多くの学生が

楽しそうに活動しておられたのがとても印象に残っていたこと、他の学年・学科の人たちと話すきっかけになると思ったからです。

活動の中で一番やりがいを感じるとき

大学の案内をしながら、高校生や保護者からの質問に答えるときです。「学校生活や受験勉強など、学生の話を聞きたい!」と言っていたことがよくあります。先生方も大学の紹介をされますが、私たちは学生の視点での情報や考えをお伝えしています。

活動を通して得たもの・新入生へのメッセージ

自分から積極的に話しかけることができるようになり、ポイントを押さえて話すことが上達したように思います。これをきっかけに、色々なことに挑戦しようと思ったり、これまで知らなかった「文教の良いところ」をたくさん見つけられたりしたこともメリットです。新入生の皆さん、色々な人と話すきっかけが欲しい人、コミュニケーション力を高めたい人、人と話すのが好きな人…ぜひ、一緒に活動しましょう!



教育学科ピアノゼミで活動

初等教育学科2021年3月卒 山田 鈴夏さん

活動概要

教育学科で小学校・幼稚園教諭をめざす1・2年生のうち、ピアノを苦手としている学生が任意に受講するピアノ初心者ゼミにおいて、ピアノ指導を行います。

活動に応募したきっかけ

授業で指導する立場として学生に関わる音楽専修の先

輩方の姿を見て、自分もやってみたいと思いました。

活動の中で一番やりがいを感じるとき

4年生の前期・後期で4人ずつ担当しました。弾ける喜びや曲が完成した時の達成感を全員に感じてもらえるように、個人に合わせた指導を心がけました。少しずつ弾ける曲が増えたり、できることが増えたりと成長した姿を見ることができ、やりがいを感じました。

活動を通して得たもの・新入生へのメッセージ

私は、SAIは単に指導を行うだけでなく、学生生活での悩みや不安などを気軽に打ち明けて相談したりできる存在でもあるのではないかと思います。技術面だけでなく精神面でのつながりができたことが、一人ひとりに合った指導を展開するための材料になっていたように思います。この経験を小学校教員として働く上で生かしていきたいです。新入生の皆さん、不安や緊張、期待など色々な感情があると思いますが、支えてくれる人が周りにいるので大丈夫です。皆さんの大学生活が有意義なものになりますように。